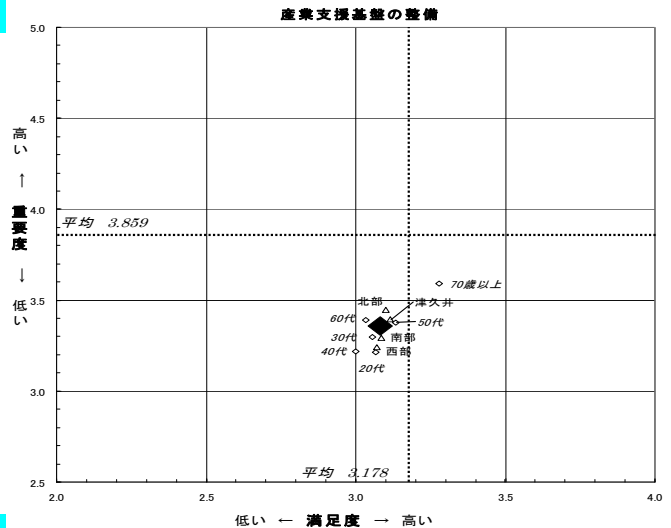


4 市民満足度調査結果(平成20年度実施分)

○この施策の満足度は3.081で121施策の中で87番目
 ○重要度は3.357で113番目である。
 ○改善要望度は-0.2864で106番目である。
 ○年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、40代で最も低くなっている。重要度は70歳以上で最も高く、20代で最も低くなっている。
 ○地区別にみると、満足度は津久井で最も高く、西部で最も低くなっている。重要度は北部で最も高く、西部で最も低くなっている。



5 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回(H18)評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 2 (1)	4 (2) 1	指標に掲げたIT相談の指導件数については、目標値を大きく下回る結果となったため、望ましいIT化支援のあり方について検討を始めている。
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 2 (1)	4 2 (1)	
合計		2	評価結果に基づく区分(2項目の合計点数による) A(6点以上) B(5点・4点) C(3点以下)	
				1次評価 C

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	産業支援基盤の整備については、現在の構成事務事業となっている産業情報センター事業のほかに、工場タイブインキューベーション施設や物流施策など、今後、あり方を検討すべき大きな課題がある。
解決策	産業情報センターの運営については、指定管理者の業務から切り離し、産業振興財団への委託事業とし財団と市が一体となって事業の推進を図っていく。また、現在の構成事務事業に適切な指標を設定できる事業がないため、新しい総合計画の中で施策のあり方を検討する。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

市民にわかりやすい指標設定を行う必要がある	2次評価 C
-----------------------	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

解決策の「産業情報センターの運営」を切り離すと具体的に何が出来るか、何をするのかを記入すること。	3次評価 C
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

構成事務事業一覧

単位:千円

事務事業 担当課	構成事務事業	H19決算見込 (事業費)	H20予算 (事業費)	H21見込額 (事業費)	事業効果 の高い 指標番号	前回の 優先順位	H17人員 (人)	H17決算額 (事業費)	H17合計 (人件費含む)
産業振興課	産業会館管理費	82,877	81,756	72,395	1	1	0.05	84,648	85,051
産業振興課	相模原市産業振興財団補助 金(再掲)					再掲	0.14	59,467	60,594
産業振興課	産業情報センター管理委託	0	0	4,000	1				0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
		82,877	81,756	76,395			0.19	144,115	145,645